

平成 24 年 12 月 17 日

愛知淑徳大学
アドミッションセンター次長 学長補佐
交流文化学部 教授 太田 浩司

「愛知淑徳大学 アドミッションズオフィス入試」実施内容

1. アドミッションポリシー

アドミッションズ オフィス入試は本学での勉学を強く希望し、第一志望として入学を志す者を対象とした専願制入試です。アドミッションズ オフィス入試 I では高等学校でのバランスのとれた学習成果を背景に課外活動や資格取得、検定試験などで優れた実績を挙げた者を対象とし、一方、アドミッションズ オフィス入試 II では本学入学後の専門教育に対する適性と学修意欲を持つ者を対象としています。

2. アドミッションズオフィス試験の概要

アドミッションズオフィス入試 I (AOI)

- (1) 対象：現役生 平均評定値：3.0 以上
- (2) 定員：学科，専攻定員の 10 パーセントから 20 パーセント (AOII との合計)
- (3) 出願及び試験

8 月	活動実績についての質問受け付け	9 月上旬	出願
9 月下旬	1 次審査	10 月上旬	2 次審査

(4) 選抜方法

1 次審査：書類審査 高等学校での活動実績* (70 点)、調査書 (30 点)
 2 次審査：個人面接 (50 点)、日本語活用能力試験 (50 点) 及び 1 次審査の得点

*㊦ スポーツ・体育系部門、㊧ 文化・芸能系部門、㊨ 資格・検定部門、㊩ 社会的活動部門に分類
 「対象となる種目」、「対象となる競技会」、「成績の評価基準」を定め、各種目の成績を A~C 段階に格付け。
 最高 3 つまで申請可能

アドミッションズオフィス入試 II (AOII)

- (1) 対象：現役生
 - (2) 定員：学科，専攻定員の 10 パーセントから 20 パーセント (AOI との合計)
 - (3) 出願及び試験
- | | | | |
|-----------|----|--------|----|
| 10 月上旬~中旬 | 出願 | 10 月下旬 | 試験 |
|-----------|----|--------|----|
- (4) 選抜方法
- 調査書 (20 点)、学科・専攻別適性試験 (40 点)、面接 (40 点)

3. アドミッションズオフィス入試の意義

入学熱望者：愛知淑徳「ファン」
 キャンパス活性化：クラブ代表 ボランティア活動

4. 現状と課題

休学、退学者	2010 年度以降現在まで	退学者	3%未満
成績 (トータル)	2010 年度以降現在まで	平均 GPA	一般入試 > AOI > AOII 個人差

4. 活動実績について

評価の対象となる活動実績は、活動分野・内容によって、⑦スポーツ・体育系部門、⑧文化・芸能系部門、⑨資格・検定部門、⑩社会的活動等の部門の4部門に分類し、各部門ごとに以下のとおり「対象となる種目」、「対象となる競技会」、「成績の評価基準」を定め、各種目の成績をA～C段階に格付けし（要件を満たさない場合は対象外）採点する。ただし、出願時に結果が出ているものに限る。また、異なる種目で最大3つまで申請可能とし、高等学校在学中の活動実績のみを評価する。

活動実績 共通の 注意事項

- 1) 以下に記載した活動実績のみを対象とするが、それ以外にも本学が適当と認めた場合は、評価の対象とすることがある。
 - 2) 活動実績票に記載された活動実績（最大3つ）で評価する。
 - 3) 異なった評価対象となる種目が複数ある場合は、本学の格付け組合せ基準により採点する。
 - 4) 同一種目は、1つしか申請できない（複数申請した場合は最も高い格付のものを採点する）。
 - 5) 同一種目であるか否かは、本学が判断する。
- ※本学には入学後の特待制度はありません。

活動実績に関する問い合わせ

アドミッションズ オフィス入試 I への出願にあたり、活動実績については以下に記載の種目・評価基準に従って判断してください。

評価基準について、判断に困ったり、ご不明な点がある場合は、「活動実績質問用紙」に記入し、郵送またはFAXにて8月24日（金）必着でお送りください（P.62参照）。

⑦ スポーツ・体育系部門

「対象となる種目」

陸上競技、体操競技、水泳競技、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、ハンドボール、サッカー、ラグビーフットボール、バドミントン、ソフトボール、レスリング、柔道、剣道、弓道、空手道、なぎなた、ボクシング、ウェイトリフティング、アーチェリー、野球、ゴルフ、スキー競技、スケート競技、自転車競技、ヨット、フェンシング、カヌー、登山、ホッケー、相撲、駅伝、ボート

「対象となる競技会」

- ・ オリンピック
- ・ 国際大会（全国大会を経て日本代表として出場したもの）
- ・ 国民体育大会（全国高等学校体育連盟が対象とする種目に限る）
- ・ 全国高等学校体育連盟が主催する大会
- ・ 日本高等学校野球連盟が主催する大会
- ・ 全国高等学校ゴルフ連盟が主催する大会
- ・ 各ブロック高等学校体育連盟が主催、共催する大会

「成績の評価基準」

成 績		格 付
国際大会	出場（日本代表として）	A
全国大会	入賞（1～8位）	
全国大会	9位以下	B
ブロック大会	入賞（1～8位）	C

注1) ブロック大会とは、各都道府県大会より上位の大会で、全国大会ではないが複数の都道府県にまたがっておこなわれる大会をいう。

注2) 団体種目も個人種目も同等に扱う。

注3) 団体種目は申請した各競技会の正規登録選手であることを条件とする。

① 文化・芸能系部門

「対象となる種目」

合唱、吹奏楽、マーチングバンド、バトントワリング、放送、演劇、文芸

「対象となる競技会コンクール」

- ・全日本合唱コンクール(全日本合唱連盟)^{*1}
- ・NHK全国学校音楽コンクール(NHK)^{*1}
- ・全日本吹奏楽コンクール(全日本吹奏楽連盟)^{*1}
- ・全日本マーチングコンテスト(全日本吹奏楽連盟)^{*1}
- ・全日本バトントワリング選手権大会(日本スポーツバトン協会)^{*1}
- ・NHK杯全国高校放送コンテスト(NHK)^{*1}
- ・全国高等学校演劇大会(全国高等学校演劇協議会)^{*1}
- ・著名な文学賞受賞^{*2}

※1. 合唱、吹奏楽、バトントワリング、放送、演劇については、上記団体が主催する大会に限る。

※2. 著名な文学賞受賞の場合は格付を検討する。

「成績の評価基準」

成 績		格 付
全国大会	個人1位	A
全国大会	個人2位	B
全国大会	団体1位	C

注) 団体競技の場合、正規登録メンバーであることを条件とする。

「文化・芸能系部門の活動実績(例)」

種 目	競 技 会 名	成 績	格付
放 送	NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門(全国放送教育研究会連盟/NHK)	優勝(個人)	A
バトントワリング	全日本バトントワリング選手権大会 全国大会 高等学校部門	1位(個人ソロ)	
放 送	NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門(全国放送教育研究会連盟/NHK)	2位(個人)	B
バトントワリング	全日本バトントワリング選手権大会 全国大会 高等学校部門	2位(個人ソロ)	
マーチングバンド	全日本マーチングコンテスト 全国大会(全日本吹奏楽連盟)	金賞(団体)	C
合 唱	全日本合唱コンクール 全国大会(全日本合唱連盟)	金賞(団体)	
吹奏楽	全日本吹奏楽コンクール 全国大会(全日本吹奏楽連盟)	金賞(団体)	

㊦ 資格・検定部門

「対象となる種目」

コンピュータ活用、簿記、珠算・電卓、商業経済、英語、外国語

「対象となる資格・検定試験」および「成績の評価基準」

以下の「資格・検定部門の活動実績」を参照

「資格・検定部門の活動実績」

種目	資格・検定		主催団体	格付		
				A	B	C
コンピュータ活用	情報処理技術者試験	応用情報技術者試験	(独)情報処理推進機構(IPA)	取得	—	—
		基本情報技術者試験	(独)情報処理推進機構(IPA)	—	取得	—
		ITパスポート試験	(独)情報処理推進機構(IPA)	—	—	取得
		情報処理検定(部門問わず)	(公財)全国商業高等学校協会	—	—	1級
		情報技術検定	(公財)全国工業高等学校長協会	—	—	1級
		計算技術検定	(公財)全国工業高等学校長協会	—	—	1級
		パソコン利用技術検定試験	(公財)全国工業高等学校長協会	—	—	1級
簿記		ワープロ実務検定	(公財)全国商業高等学校協会	—	—	1級
		簿記検定	日本商工会議所	1級	2級	—
珠算・電卓		簿記実務検定(部門問わず)	(公財)全国商業高等学校協会	—	—	1級
		珠算能力検定	日本商工会議所	—	1級	—
商業経済		珠算・電卓実務検定(部門問わず)	(公財)全国商業高等学校協会	—	—	1級
		商業経済検定	(公財)全国商業高等学校協会	—	—	1級
英語		実用英語技能検定	(公財)日本英語検定協会	1級・準1級	—	2級
		英語検定	(公財)全国商業高等学校協会	—	—	1級
		リスニング英語検定	(公財)全国工業高等学校長協会	—	1級	2級
		TOEIC®	(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会	600点以上	490点~599点	—
		TOEFL®	ETS (Educational Testing Service)	iBT61点以上 CBT173点以上 PBT500点以上	iBT48~60点 CBT140~172点 PBT460~499点	—
外国語		中国語検定	(一財)日本中国語検定協会	1級	準1級・2級	—
		旧HSK(漢語水平考試)	中国国家HSK委員会	8級・7級	6級	—
		新HSK(漢語水平考試)	中国国家HSK委員会	6級・5級	4級	—
		「ハングル」能力検定	NPO法人 ハングル能力検定協会	1級	2級	準2級
		韓国語能力試験	(財)韓国教育財団	6級・5級	4級・3級	2級

(公財)は公益財団法人、(一財)は一般財団法人の略です。

注)上表以外については、原則対象外である。

㊦ 社会的活動等の部門

「対象となる種目」

社会的奉仕活動、生徒会活動

「成績の評価基準」

(1)社会的奉仕活動

次の①~③のすべての条件を満たしていることとし、活動内容に応じて本学が格付する(格付C)。

- ① 個人が主体的に活動していること、または、社会奉仕を目的とした団体に個人で参加していること
(教育の一環として高等学校がおこなっている授業、課外活動、クラブ活動およびボーイスカウトなどは対象外)。
- ② 活動期間が1年以上継続していること。ただし、海外での活動はこの限りではない。
- ③ 活動内容に関する第三者または対象者の認定があること。

(2)生徒会活動

生徒会会長のみを対象とする(格付C)。生徒会会長以外は評価の対象としない。